

<p>たくましく 心豊かな 地球市民</p> 	<p>瞳かがやく 附属松本中の子ら</p> <h1>すずかけの森</h1>	<p>令和5年10月2日（月） 信州大学教育学部 附属松本中学校 学校だより No. 4</p> 
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

日ごとに秋の深まりを感じる季節となりました。明後日から始まる本校最大の生徒会行事「附中祭」を目前に控え、仲間と協力しながら制作に取り組む姿や発表の練習を熱心に繰り返す姿が見られるなど、学校中が活気に満ち溢れています。昇降口に掲示されているカウントダウンもいよいよ“2日”となりました。生徒の期待も高まってきています。「進化～仲間と繋ぎ自ら挑む～」の具現に向け、個々のよさを発揮しながら、全校が一体となる瞬間を大切にしていきたいと思ひます。



門柱完成に向けて模造紙を貼り合わせていく

前期を締めくくり、後期を始める「節」をつくろう ～中島 健 副校長先生のお話より～

皆さん、おはようございます。

信州の秋がだんだんと、しかし、確かな足取りで深まっています。そんな秋晴れの気持ちの良い今日は、前期を締めくくり、後期を始める日です。学期の終わりにあたり、先日は担当の委員会の皆さんが、三心の池をきれいにしたり、廊下のワックスがけを行ったりしてくれました。また、縦割り班による延長清掃にも全校で取り組み、校舎内外がますます整ってきています。とても気持ちよく後期の学校生活を始めることができます。ありがとうございます。

皆さんにとって、前期を終える今。これまでの自分を見返し、できるようになったことは何か、そしてできるようになったことによって、掴み取ったものは何か、できるようになるまでの過程にはどんな歩みがあったのか、じっくり考えてほしいと思ひます。そして、3年生は中学校生活の締めくくりに、さらには自分の希望する進路実現に向けて、2年生はいよいよ生徒会を、この学校の伝統を引き継ぎ、新たな歴史をつくっていく本校のリーダーとなっていくために、1年生は半年後に後輩を迎え、先輩となるための自分たちの確かな土台作りのために、後期の日々を充実したものにしてほしいと思ひます。

前期と後期の境に当たる今日、「竹」の話をしたと思ひます。そう、あの植物の竹です。

皆さんもよく知っている竹という植物は、茎も根も葉も非常に硬い植物の一つです。中でも茎にあたる幹の部分は、相当に強い強風でも折れることが少ないと言われ、かなり頑丈にできています。それは、竹の胴体である幹に秘密があると言われていています。頑丈なその胴体には、「節」という部分がありますね。この節のおかげで、折れることなく、悠々と伸びていきます。竹は、その成長の早さでも有名ですよ。



このような頑丈な竹ですが、意外に柔らかい性質ももっています。硬い竹が折れずにかなりのところまで曲がるのは、やはりこの「節」があるおかげです。これらの性質を踏まえて、竹は「しなやか」という言葉で例えられることがあります。

前期の学校生活は、入学や進級で始まり、様々な学年行事や学習活動がありました。生徒会活動はもちろん、部活動の大会やコンクールへの参加、それに本校は教育実習の先生方もたくさん迎えましたね。そうそう、来年度の入学を希望する小学校6年生の皆さんに向けての学校説明会も、今年度は皆さんの授業も参観していただく形で行いました。本当にたくさんの児童そしてお家の方々が来校されました。1年生を中心に体育館での発表もありがとうございました。

このような6か月間。ある意味、忙しく感じられたことも多かったと思います。まさに「光陰矢の如し」というくらいあっという間でしたが、皆さんの努力と協力のおかげで、どの場面、どの分野でも、目覚ましい成長を遂げることが出来ていると思います。

それは、全校が節目、節目で的確な目標をもって学校生活を送ったからだと思います。毎週や毎月などの小さな節目でも、行事ごとの大きな節目でも、互いに励まし合い、皆さん一人一人が目標に向かって歩いていきました。だから今、安心して前期を締めくくり、後期を始められるのだと思います。

さて、今日の1時間目は、前期と後期の間にある大切な時間です。皆さんにとって大きな「節」であると考えます。前期の成果と自分の成長を振り返るとともに、後期への元気と勇気を持ち、大切な時間としたいと思います。

さあ、後期が始まります。竹のように確かな「節」をつくりながら、根からはしっかりと養分を吸収して、ぐんぐんと自分の力で成長していきましょう。時に仲間と励まし合いながら。日々の暮らし、日々の学習の中で、今年度のテーマである、「何ができるのか どうやったらできるのか」を求める体験を積み重ね、思いっきり探究していきたいですね。期待しています。

そして、10月を迎えたと言えば、そう、附中祭がいよいよ目の前です。全校の皆さんの協力で、準備は着々と進んでいますね。皆さんそれぞれに忙しいなか、自分たちで時間を生み出すようにして、練習や打ち合わせ、さらには様々な制作等に取り組んでいる姿があります。さらに、2か月後には、附中メモリアルコンサートです。先週の音楽集会での讃歌の歌声、ますます厚みが出てきて、附中伝統の歌声がいよいよ本物になってきたように感じます。

また、最近毎日のように、各クラスからきれいな歌声が響いています。クラス合唱に向けてもエンジンがかかってきました。こちらも、とても楽しみです。

